



土俵際のせめぎあい

## 子どもたちが奉納相撲

### 宿・牛神奉納子供角力

宿の牛神神社の牛神奉納子供角力が8月29日、同神社前の広場で行われ、子どもたちは取り組みを何番も楽しみました。

2歳から小学6年までの15人が参加。寄り切りや投げたりと力の入った取り組みの連続。勝負が決まるたびに、大きな歓声と拍手が会場を包んでいました。

この奉納相撲は、同地区で天保(江戸)時代から、ほとんど途切れることなく続いている伝統行事です。

## 太陽光発電「そうじゃたいよう君」

### 発電装置の始動式

30kW(一般家庭の約7軒分)の発電能力がある太陽光発電装置を総社市保健センターの屋上に設置し、8月1日から市役所の電力の一部を賄っています。

8月18日、同センター屋上で開かれた始動式では、吉田太陽くん(総社一丁目)、片山太陽くん(総社二丁目)、田中太陽くん(富原)の3人の「太陽くん」が除幕し、始動を祝いました。

発電用パネルは縦1m、横1.3mの大きさで、168枚を設置。名前は「そうじゃたいよう君」です。発電量はリアルタイムで、市役所玄関の壁面に設置したモニターに表示されます。

二酸化炭素の排出量の抑制など、市ではエコの啓発につながればと導入しました。



そうじゃたいよう君を3人の太陽くんが除幕。柵の向こうが太陽光発電用パネル



## ミニフォト

### 力の限界に挑戦



力石を持ち上げる子ども

8月22日、毎年恒例の力石総社が総社宮で開かれ、子どもから大人まで約250人が参加。力石を使った力比べに挑みました。参加者は、次々に重い石に挑戦。石を持ち上げると客席から大きな歓声が上がっていました。

### お気に入りの消防車を描く



画用紙には真っ赤な消防車

消防写生大会が9月4日、消防庁舎グラウンドで開かれました。幼稚園児や小学生など約310人が参加。子どもたちは、はしご車や救助工作車など4台の消防車のなかから好きな消防車を選び、画用紙いっぱい描いていました。

### 救急の大切さを知ってもらう



高規格救急車を見学

9月9日の救急の日を前に9月4日、天満屋ハイパータウンリブ総社店で「そうじゃ・救急の日」を開催しました。買い物客は、煙体験や高規格救急車を見学。救急車の見学では、車内の医療機器や器材に興味深く見入っていました。

### お父さんが子育てを学ぶ



親子でいっしょに作る

父親が育児を学ぶ講座「パパ友つくろう!『イクメン』ってかっこいい!」が8月28日スタート。初回はあのね保育園で、11組の親子が竹の水鉄砲やゴム鉄砲作りに挑戦。お父さんたちは子どもとのふれあいの大切さを再認識していました。

### 全国一斉にクリーンアップ



掃除や草取りに汗を流す

8月26日、総社吉備路商工会青年部は、全国商工会青年部連合会が企画する全国統一事業「クリーンアップ全国大会」に賛同し、備中国分寺周辺の道路や駐車場を清掃。参加者は汗だくになりながら、草刈りやごみ拾いをしました。

### 日本語の筆記や会話を学ぶ



日本語で自己紹介する受講者

全20回の日本語講座が9月7日、総合福祉センターで始まりました。外国人で育児期の母親を対象にした講座で、ブラジル人やペルー人15人が参加。この日は、自己紹介をする日常会話と自分の名前を書く練習をしました。



飯ごう炊さんをする子どもたち

## 大自然に囲まれて

### 自然学校

環境の大切さや自然を知ってもらおうと、自然学校が8月21日・22日の両日、鑑水キャンプ場(岡山市北区)で開かれました。

小学生24人が参加。テント設営にはじまり、竹細工、飯ごう炊さん、池での水遊び、キャンプファイアなどを体験。子どもたちは大自然のなかで普段できない野外活動を大いに楽しんでいました。

### 思いをこめて読む



本を読む子ども

子どもの読む力を育み、読書に親んでもらおうと、音読コンテスト「そうじゃ言葉の力大会」を8月21日、市図書館で開催しました。小学生約30人が参加。子どもたちは、お気に入りの本の1か所を思いを込めて読んでいました。

### 在日大使館で国際感覚を磨く



修了式で研修を振り返る生徒

駐日大使館での視察や体験から国際感覚を身に付けてもらう研修「ジュニア・アンバサダー・プログラム」の修了式を8月23日、市役所で開催。参加した中学生4人はイランとイラクの駐日大使館での体験を報告しました。

### 黒板とビデオカメラでアニメ制作



黒板の絵を撮影する子どもたち

短編アニメを作る「みんなで作ろうラクガキアニメ!」が8月21日、岡山県立大学で開かれました。小学生15人が参加。黒板に書いた絵を少しずつ変えていながら、ビデオカメラでコマ撮りし、短編アニメを完成させました。